

僞滿洲國政府公報

康熙廿九年九月

康德十年九月

爲滿洲國政府公報

第一百〇三冊

遼瀋書社

一九九〇年·瀋陽

豐府公報

康德十年九月一日
第二千七百七十六號
星期三(水曜日)

部令

刪除之

軍事部令第十五號
陸將軍給與令施行規則中修正如左
康德十年九月一日

軍事部大臣 邢士廉

一、另表第二表簡任武官普通職務津貼定額
及等級區分表二簡任中「陸軍自動車學校
幹事」之次加添「憲兵訓練處幹事」及
「陸軍軍械技術養成所幹事」

二、另表第三表簡任武官普通職務津貼定額
及等級區分表中改為如左

(一) 甲類關中「憲兵訓練處長」之次加
添「陸軍軍械技術養成所幹事」、「憲兵訓
練處長」改為「憲兵訓練處幹事」

(二) 乙類關中「陸軍學校材料統計處長」
及「陸軍軍械技術養成所教育部長」、「陸軍
軍械技術養成所教育部長」及「陸軍
江上訓練處教育部長」之次加添「陸軍
江上訓練處教育部長」及「江上補給本
隊高級教官」

(三) 丙類關中「憲兵訓練處長」之次加
添「憲兵訓練處幹事」、「陸軍軍械技術
養成所教育部長」及「陸軍江上訓練處
教育部長」之次加添「陸軍軍械技術
養成所教育部長」

(四) 丁類關中「陸軍軍械技術養成所生
徒隊長」之前加添「憲兵訓練處幹事」及
「陸軍軍械技術養成所生徒隊長」

(五) 陸將軍給與令施行規則中左ノ通改正ス
軍事部大臣 邢士廉

一、另表第二表簡任武官普通職務津貼定額
及等級區分表二簡任中「陸軍自動車學校
幹事」之次加添「憲兵訓練處幹事」及
「陸軍軍械技術養成所幹事」

二、另表第三表簡任武官普通職務津貼定額
及等級區分表中改為如左

(一) 甲類關中「憲兵訓練處長」之次加
添「陸軍軍械技術養成所幹事」、「憲兵訓
練處長」改為「憲兵訓練處幹事」

(二) 乙類關中「陸軍學校材料統計處長」
及「陸軍軍械技術養成所教育部長」、「陸軍
軍械技術養成所教育部長」及「陸軍
江上訓練處教育部長」之次加添「陸軍
江上訓練處教育部長」及「江上補給本
隊高級教官」

(三) 丙類關中「憲兵訓練處長」之次加
添「憲兵訓練處幹事」、「陸軍軍械技術
養成所教育部長」及「陸軍江上訓練處
教育部長」之次加添「陸軍軍械技術
養成所教育部長」

(四) 丁類關中「陸軍軍械技術養成所生
徒隊長」之前加添「憲兵訓練處幹事」及
「陸軍軍械技術養成所生徒隊長」

一、另表第二表簡任武官普通職務津貼定額
及等級區分表二簡任中「陸軍自動車學校
幹事」之次加添「憲兵訓練處幹事」及
「陸軍軍械技術養成所幹事」

二、另表第三表簡任武官普通職務津貼定額
及等級區分表中改為如左

(一) 甲類關中「憲兵訓練處長」之次加
添「陸軍軍械技術養成所幹事」、「憲兵訓
練處長」改為「憲兵訓練處幹事」

(二) 乙類關中「陸軍學校材料統計處長」
及「陸軍軍械技術養成所教育部長」、「陸軍
軍械技術養成所教育部長」及「陸軍
江上訓練處教育部長」之次加添「陸軍
江上訓練處教育部長」及「江上補給本
隊高級教官」

部

大

綱

合

行

列

所長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

副

長

其或已發得業執照第一項許可之類別者
者（以下稱製糖業者）將係法第二十四條
之二規定被指定之加工品（以下稱指定加
工品）賣售於該產公司或其特約收買人時
亦同。

五、第十一條加添左列項
前項之規定於指定外勞勞動者依法第
律之第三項之規定受許可時準用之

所に受ケタヌ特殊加工業者又ハ運送機械
法第一編 第二章 特許オ受ケタヌ製糖業者(以下
下同)等ノ特許第二十四号製糖業者(以下
規定ニ依リ指定セラレタヌ加工品(以下
指定加工品)稱ス)ヲ農商公社又ハ其ノ
特約取販入エ資源ス場合ニ付亦同ジ
三 第十一章左ノ如ク改ム

五
第一十二條ニ左ノ一項ヲ加フ
前項ノ規定ハ依頼公社ガ法第十九條ニ第三
二項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケントヌル場
合ニテ之ヲ準用ス
第七十二條ニ左ノ一様ヲ加フ
六

五
第一十二條ニ左ノ一項ヲ加フ
前項第一項ニ指定者並耕者ガ法第九條
ノ三第一項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケント
スル場合ニテ其用ス
六 第十二條ニ左ノ一項ヲ加フ
二項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケントヌル場合
ニテ其用ス
七 第十二條ニ左ノ一項ヲ加フ
第十二條ノ三 法第九條ノ二但書「該當

五 第十二條ノ左ノ一項ヲ加フ
前項ノ規定ニ依テ本件取扱者ガ法第十九條
第一項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケント
スル場合ニ之ヲ準用ス

六 第十二條ノ二ノ左ノ一項ヲ加フ
前項ノ規定ニ依テ在任公務ガ法第五條ニ第三
項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケントスル場合
合ニテ之ヲ準用ス

七 第十二條ノ二ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ
第一項ノ規定ニ依リ書面ニ其事由
ニ付ス場合左ノ二項ヲ加フ
一 檢査所ニ検査品販売品作成又ハ販賣

五 第十二條^ノ左ノ一項ヲ加フ
新項ノ第一項ノ規定ニ依テ被執押者ガ法第十九條
スル場合ニ之ヲ用ス、許可ヲ受ケントスル場
六 第十二條^ノ二^二左ノ一項ヲ加フ
前項ノ規定ハ依リ認可ヲ受ケントスル場
合ニテ之ヲ用ス

七 第十二條^ノ二^二次^ノ左ノ一條ヲ加フ
スル場合左ノ如ク
一 檢査所ニ検査標品作成用又ハ試
験調査用トシテ指定加工品ヲ資渡ス

五 第十二條ニ左ノ一項ヲ加フ
新項第一項ノ規定ハ指定外取扱者ガ法第十九條
ノ三第一項ノ規定ハ依リ許可ヲ受ケント
スル場合ニ之ヲ用ス。

六 第十二條ニ二ノ左ノ一項ヲ加フ
二項ノ規定ハ依リ認可ヲ受ケントスル場
合ニテノア用ス。

七 第十二條ニ二ノ左ノ一條ヲ加フ

八 第十二條ニ二ノ左ノ一項ヲ加フ
スル場合左ノ如シ
一 檢査所ニ検査標品作成用又ハ試
験調査用トシテ指定加工品ヲ運送ス
場合

五 第十二條 之左ノ一項ヲ加フ
前項ノ規定ハ、農業公社が法第凡修ノ第三項第一ノ項ノ規定ニ依リ可フ受ケシトスル場合ニ之ヲ用ス。

六 第十二條 之左ノ一項ヲ加フ
前項ノ規定ハ、農業公社が法第凡修ノ第三項第一ノ項ノ規定ニ依リ可フ受ケシトスル場合ニ之ヲ用ス。

七 第十二條 之二ノ二・三・四・五ノ一條ヲ加フ
第十二條ノ二・三・四・五ノ一條ヲ加フ
スル場合左ノ如シ

一 檢査所ニ檢査標示品作成用又ハ試驗用具用トシテ指定加工品ヲ製造スル場合

二 開農務大臣許可期間又ハ地域ヲ指定シ特種資本ヲ原資トスル加工業者

五 第十二條ノ左ノ一項ヲ加フ
新項ノ規定ニ依テ指定加工品ヲ資本金無
ノミ第一項ノ規定ニ依リ許可ヲ受タント
スル場合ニ之ヲ使用ス

六 第十二條ノ左ノ一項ヲ加フ
前項ノ規定ニ依テ新規工社が第十九條ノ第三
二項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケシトモ新規
合ニテ之ヲ準用ス

七 第十二條ノ二ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ
第十二條ノ二ノ次ニ但書ニ該當
スル場合左ノ如シ

八 檢査所ニ検査標品作成用又ハ試
験調査用トシテ指定加工品ヲ資本金無
の場合

九 關稅署大區特ニ期間又ハ地域ヲ指
定シテ特種物ノ原料トスル加工業者
又ハ製造業者ノ指定加工品ヲ該當する
上記ノ規定ニ依リ資本金無の新規工社

五 第十二條ノ二左ノ一項ヲ加フ
前項第一項ノ規定並特約事項ガ法第九項
ノ三第一項ノ規定並依リ許可ヲ受ケント
スル場合ニテ其用ス

六 第十二條ノ二左ノ一項ヲ加フ
前項ノ規定ハ依頼公社ガ法第九條ノ第三
項ノ規定ハ依リ認可ヲ受ケントスル場
合ニテ其用ス

七 第十二條ノ二ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ
第十二條ノ二ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ
スル場合合ノ如シ
一、検査所ニ検査標品作成用又ハ試
験調査用トシテ指定期間内に付送ス
場合ニテ
二、製造部大臣所ニ期間又ハ地域ヲ指
定シ特種物資ノ輸送トスル業者ニ付送ス
又ハ製造業者ニ付送スル業者ニ付送ス
社又ハ其ノ特約取扱人ニ付送ス必要
ナシ認可タル場合

五
前項第二條に左ノ一項ヲ加フ

ノモ第一項ノ規定ニ依リ特許権者ガ法第九節
スル場合ニ之ヲ使用ス

第六十二條ノ二左ノ一項ヲ加フ

前項ノ規定ハ、鷹森公社ガ法第九節、第三項
二項ノ規定依リ認可ヲ受ケントスル場合
合ニテアリ準用ス

第十二條ノ二左ノ一項ヲ加フ

第十二條ノ三 法第九條ノ二但書ニ該當
スル場合ノヨリ如シ

一 檢査所ニ検査標品作成用又ハ試験
驗査用トシテ指定加工品ヲ審査ス
場合

二 関農業大臣許可期間又ハ地域ヲ指
定シ特種機器ノ購入料工賃公社若
又ハ製造業者ニ指定加工品ヲ鷹森公
社又ハ其ノ特約收販人ニ賣渡ス必要
ナシト認マタル場合

興農業大臣前項第二號ノ期間又ハ地域
ヲ規定シタルトキハ之ヲ告示ス

五
六 第二十二條ノ左ノ一項ヲ加フ
新項ノ第一項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントヌル場合
スル場合は之ヲ準用ス
第十二條ノ二左ノ一項ヲ加フ
二項ノ規定ハ鷹森公社が法第十九條ノ第三項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケントヌル場合
合ニテ準用ス
七 第十二條ノ二左ノ一條ヲ加フ
第十二條ノ二法第五十九條ノ二但書「該當
ヌル場合左の如シ
一 調査會所ニ賣賣査標品作成又ハ試
驗調査用トシテ指定加工品ヲ賣渡ス
場合
二 関税課大臣特ノ期間又ハ地域ヲ指
定シテ特許業者ノ原料・スル加工業者
又ヘ製粉業者ノ指定加工品ヲ鷹森公社
社又ヘ其ノ特許権買入人ノ賣渡ス必要
ナシドリタル場合
三 業務課大臣特ノ期間又ハ地域
ヲ指定シタルトキハ之ヲ告示ス
附 則

五
第十二條ニ左ノ一項ヲ加フ
新項第一項ノ規定並ハ新規者ガ法第九條
ノ三第一項ノ規定依リ許可ヲ受ケント
スル場合ニ之ヲ用ス

六 第十二條ニ左ノ一項ヲ加フ
二項ノ規定依リ認可ヲ受ケントヌル場合ニ
之ヲ準用ス

七 第十二條ニ左ノ一條ヲ加フ
スル場合ノ二項ヲ如シ
一、検査所ニ検査標品作成用又ハ試
験用トシテ指定加工品ヲ渡ス
場合

二、製造大掛ニ期間又ハ地域ヲ指
定シテ特製物ヲ原料トスル加工業者
又ヘ製造業者ノ指定加工品ヲ設置公
社又ヘ其ノ特約被質入ヲ設置ス必要
ナシド限タル場合
ヲ指定シタルトキハ之ヲ告示ス
附 则
本令ハ唐嘉十年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

五
六 第十二條ニ左ノ一項ヲ加フ
前項第十二條ニ左ノ一項ヲ加フ
ノミ第三ノ項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケント
スル場合ニテア申用ス
六 第十二條ニ左ノ一項ヲ加フ
前項ノ規定ハ、既往公社法第五條ノ第三
二項ノ規定に依リ認可ヲ受ケントヌル場
合ニテア申用ス
七 第十二條ニ左ノ一項ヲ加フ
第七条ノ二ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ
スメ場合ノ三、法第五條ノ二但書ニ該
スメ場合左ノ如シ
一 檢査所ニ検査申込品作成用又ハ試
験調査用トシテ指定加工品ヲ審査
二 製造販売代理期間又ハ地域ヲ指
定シテ特許物ヲ原科トスル加工業者
又ハ製粉業者ノ指定加工品ヲ該往公
社又ハ其ノ特約販賣人、賣穀又必要
ナシ時額ノタル場合
製造販賣店の店頭ノ期日又は地域
ヲ指定シタルトキハ之ヲ告示ス
本令ハ唐德十年九月一日ヨリアリ地行ス
附 則

五 第十二條 本ノ左ノ一項ヲ加フ
新規ノ規定ニ依テ新規者ガ法第十九條
第一項ノ規定ニ依テ新規者ガ法第十九條
スル場合ニ之ヲ準用ス
六 第十二條 本ノ左ノ一項ヲ加フ
前項ノ規定ハ依リ認可ヲ受ケントスル場
合ニテ之ヲ準用ス
七 第十二條 ノ二ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ
第一項ノ規定ニ依テ新規者ガ法第十九條ニ第三
項スル場合左ノ如キ事務ニ付属ス
一 檢査所ニ検査標品作成用又ハ試験
驗測用トシテ指定加工品ヲ資渡ス
二 賽馬場モ大同特ノ期間又ハ地域ヲ指
定シテ特種物ヲ原料トスル加工業者
又ハ製粉業者ニ指定加工品ヲ資渡ス
ナシ特種業者ニタル場合
三 残部大臣前項ノ期ノ期間又ハ地域
ヲ指定シタルトキハ之ヲ告示ス
附 則
本令ハ唐德十年九月一日ヨリ之ヲ施行ス
〔備註〕

五
六 第二十二條ノ左ノ一項ヲ加フ
新項ノ第一項ノ規定ニ依テ被相手者ガ法第十九條
スル場合ニ之ヲ準用ス
第七十二條ノ二、左ノ一項ヲ加フ
前項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケントスル場
合ニテ之ヲ準用ス
七 第十二條ノ二、次ニ左ノ一條ヲ加フ
スルニ場合左ノ如シ
一 檢査所ニ検査済品作成又ハ試
験調査用トシテ指定加工品ヲ資渡ス
場合
二 製造部大臣持ノ期間又ハ地域ヲ指
定シテ特製物ヲ原料トスル加工業者
又ヘ製粉業者ノ指定加工品ヲ製造業者
社又ハ其ノ特約販賣人ニ資渡ス必要
ナシシテ同ノタクル場合
製造部大臣前項ノ二ノ期間又ハ地域
ヲ指定シタクルトキハ之ヲ告示ス
附 則
本令ハ唐德十年九月一日ヨリ之ヲ施行ス
〔總題〕
康熙七年三月 聞興記令第二十二號
第九條第一項 聞興公司ノ特約販賣人種類
與義合作社又ハ油鹽業者ハ買入又ハ加工工
業者種類

五
六 第十二條ノ二左ノ一項ヲ加フ
前項規定ハ、依リ認可ヲ受ケントスル場合
ノ三第一項ノ規定ハ、依リ許可ヲ受ケント
スル場合ニ之ヲ申用ス。

七 第十二條ノ二ノ次「左ノ一條ヲ加フ」
第一項ノ規定ハ、依リ認可ヲ受ケントスル場合
合ニテアリ申用ス。

八 第十二條ノ二ノ次「左ノ一條ヲ加フ」
スル場合左ノ如シ。
一 檢査所ヲ検査標品作成用又ハ試験用トシテ
試験用トシテ指定加工品ヲ資渡ス
二 製造部大阪特ニ期間又ハ地域ヲ指
定シテ特種物ヲ原料トスル加工業者
又ハ製粉業者ノ指定加工品ヲ資渡ス
社又ハノ専門的技術者ニ資渡ス必要
ナシト認メタル場合
製造部大阪前項第二號ノ期間又ハ地域
ヲ指定シタルトキハ之ヲ告示ス。

附 則

本令ハ昭和十年九月一日ヨリ之ヲ施行ス
〔解説〕

昭和九年三月
本官ハ財務省行財政課監理
第九條第一項 異業公社ノ特約販賣人權限
異業合作社又ハ油業者等の貿易又ハ加工ヲ
シタル特約販賣又ハ加工公社ノ専用スル方法
シテ同上公社ノ貿易又ハ加工ス。

五
六 第二十二條ニ左ノ一項ヲ加フ
ノ第三第一項ノ規定外別紙第十九號第六項ノ規定依リ許可ヲ受ケントスル場合ニテ
スル場合は之ヲ申用ス
第六十二條ニ左ノ一項ヲ加フ
二項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケントスル場合ノ如シ
二項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケントスル場合ノ如シ
二 第十二條ノ二ニ次ニ左ノ二條ヲ加フ
第十二條ノ二 第九條ノ二但書ニ該當
スル場合ノ如シ
一 検査所ニ賣査標示品作成用又ハ試験用具トシテ指定加工品ヲ賣査ス必要
場合
二 質量部大臣所ニ期間又ハ地域ヲ指
定シテ特許簿ヲ持込トスル加工業者
又ハ製造業者ノ指定加工品ノ譲渡又は販
賣又ハ其ノ特約販賣人に譲渡ス必要
ナシト認メタル場合
製造業大臣前項第二條ノ期間又ハ地域
ニ該當する場合
一 指定シタクルトキハ之ヲ告示ス
附 則
本令ハ昭和十年九月一日ヨリ之ヲ施行ス
〔参照〕
大正七年九月
農商務省令第十二號
第九條第一項
本令ハ農商務省令第十二號
認可シタル特許物又ハ特許簿公証人ノ指示スル方法
ニ從ヒ良事云々を除クス
第一十一條
前項第一項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケントスル場合ノ如シ
本令ハ農商務省令第十二號
認可シタル特許物又ハ特許簿公証人ノ指示スル方法
ニ從ヒ良事云々を除クス
附 則
本令ハ昭和十年九月一日ヨリ之ヲ施行ス
〔参照〕

五
第一十二條ニ左ノ一項ヲ加フ
前項ノ規定ハ依頼在公社ガ法第十九條ノ第三項ノ規定ハ依頼可ヲ受ケントヌル場合
合ニテアリ準用ス
第七十二條ノ二ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ
第十二條ノ二ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ
スル場合ノヨリ如シ
一、検査所ニ檢査標品自品作成用又ハ試
験調査用トシテ指定加工品ヲ審議ス
場合
二、開業證大抵持期間又ハ地域ヲ指
定シ特許者又は認可トスル加工業者
又ハ製造業者ニ指定加工品ヲ設立公
社又ハ其ノ特約收販人ニ賣渡ス必要
ナシド記述タル場合
三、指定シタルトキハアリ告示ス
附 則
本合ハ唐嘉徳十年九月一日ヨリ之ヲ施行ス
〔總則〕
嘉慶七年九月三十日興農部令第二十二號
物資管路航行規則
第九條第一項興農部令社外的收販人種類
與經營社又ハ油鹽業者ニ買入又ハ加工ヲ
シタル特許者又は認可販賣公社ノ表示スル方法
ニ從ニ良善公社ニ就後スニテ
第一十一條計上ニ落基其ノ古蘇又ハ貯酒ノ定ムル特許者
地方行政官署定ムハシ

價格

三 標記或指定加工品之所在地

四 買主及其用途

附 則

本令自康德十一年九月一日施行

明治七年三月三十日興農部令第二十一號總裁

督理法施行則別抄謹

第十九條 附則

第十九條 省省長須當於興農部大臣所定之種類

之種類別圖書定兵庫市 駐或取之種類等別詳載

新規制所長應從種類別大臣所定之種類等別

或改之後定期別圖書定兵庫市 駐或取之種類等別

或許可者皆因

於第九條第一項之種類別對照而核減成

則取入人之種類別圖書定兵庫市 駐或取

或改之後定期別圖書定兵庫市 駐或取之種類等別

或許可者皆因

二 第七十三號之文加添另列一號

七十四 所謂製粉業指為小麦粉、玉蜀黍粉

米粉、高粱粉、蕎麥粉或豆餅粉之製造

業而言

附 則

本令自康德十一年九月一日施行

明治部令第四十三號

茲將小麥粉等實業稅法施行規則廢止之

明治十年九月一日

經濟部大臣 阮振輝

興農部大臣 黃富俊

新嘉坡大臣 鄭成志

本令自康德十一年九月一日施行

關於本令施行前所為行實適用之罰則雖於

本令施行後小麥粉等實業稅法施行規則仍有其效

力

附 則

本令自康德十一年九月一日施行

茲將飼料水汙泥稅法施行規則廢止之

明治十年九月一日

經濟部大臣 阮振輝

新嘉坡大臣 鄭成志

本令自康德十一年九月一日施行

關於本令施行前所為行實適用之罰則雖於

本令施行後飼料水汙泥稅法施行規則仍有其效

力

附 則

本令自康德十一年九月一日施行

茲將飼料水汙泥稅法施行規則廢止之

明治十年九月一日

經濟部大臣 阮振輝

新嘉坡大臣 鄭成志

本令自康德十一年九月一日施行

關於本令施行前所為行實適用之罰則雖於

本令施行後飼料水汙泥稅法施行規則仍有其效

力

經濟部令第四十四號

茲將飼料水汙泥稅法施行規則正

明治十年九月一日

經濟部大臣 阮振輝

新嘉坡大臣 鄭成志

本令自康德十一年九月一日施行

關於本令施行前所為行實適用之罰則雖於

本令施行後飼料水汙泥稅法施行規則仍有其效

力

附 則

本令自康德十一年九月一日施行

茲將飼料水汙泥稅法施行規則廢止之

明治十年九月一日

經濟部大臣 阮振輝

新嘉坡大臣 鄭成志

本令自康德十一年九月一日施行

關於本令施行前所為行實適用之罰則雖於

本令施行後飼料水汙泥稅法施行規則仍有其效

三 並當又ハ指定加工品ノ所在地

四 實業又ハ指定加工品ノ用途

高粱粉、蕎麥粉又ハ大豆粕粉ノ製造ヲ

爲ス業ヲ謂フ

附 則

本令自康德十一年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治部令第四十三號

茲將小麥粉等實業稅法施行規則廢止之

明治十年九月一日

經濟部大臣 阮振輝

興農部大臣 黃富俊

新嘉坡大臣 鄭成志

本令自康德十一年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

關於本令施行前所為行實適用之罰則雖於

本令施行後小麥粉等實業稅法施行規則仍有其效

力

附 則

本令自康德十一年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

茲將飼料水汙泥稅法施行規則廢止之

明治十年九月一日

經濟部大臣 阮振輝

新嘉坡大臣 鄭成志

本令自康德十一年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

關於本令施行前所為行實適用之罰則雖於

本令施行後飼料水汙泥稅法施行規則仍有其效

力

附 則

本令自康德十一年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

茲將飼料水汙泥稅法施行規則廢止之

明治十年九月一日

經濟部大臣 阮振輝

新嘉坡大臣 鄭成志

本令自康德十一年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

關於本令施行前所為行實適用之罰則雖於

本令施行後飼料水汙泥稅法施行規則仍有其效

力

一 第七十三號ノ次ノ文ニ左ノ號ヲ加ノ

七十四 製粉業又ハ小麥粉、高粱粉、

蕎麥粉、高粱粉又ハ大豆粕粉ノ製造ヲ

爲ス業ヲ謂フ

附 則

本令自康德十一年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治部令第四十二號

茲將小麥粉等實業稅法施行規則廢止之

明治十年九月一日

經濟部大臣 阮振輝

興農部大臣 黃富俊

新嘉坡大臣 鄭成志

本令自康德十一年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

關於本令施行前所為行實適用之罰則雖於

本令施行後小麥粉等實業稅法施行規則仍有其效

力

附 則

本令自康德十一年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

茲將飼料水汙泥稅法施行規則廢止之

明治十年九月一日

經濟部大臣 阮振輝

新嘉坡大臣 鄭成志

本令自康德十一年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

關於本令施行前所為行實適用之罰則雖於

本令施行後飼料水汙泥稅法施行規則仍有其效

力

附 則

本令自康德十一年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

茲將飼料水汙泥稅法施行規則廢止之

明治十年九月一日

經濟部大臣 阮振輝

新嘉坡大臣 鄭成志

本令自康德十一年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

關於本令施行前所為行實適用之罰則雖於

本令施行後飼料水汙泥稅法施行規則仍有其效

力

第四條改爲如左

第四條 依稅法第六條第一項規定之課稅
物件之製造發售由所轄稅捐局長爲之
申報書提出於所轄稅捐局長而爲之

之審核之記載事項遇有變更時應立即將
其旨以書面申報於所轄稅捐局長

第五條之三 第四條第二項之規定就前二
條申報書之用

一 製造場之位置

二 製造之課稅物件

三 中報人之住所及姓名或名稱

四 資本額、出資者及資本系統

五 製造場之基地及建築物之座置
一年間之製造能力及預計製造數量

六 製造方法

七 製造器具及機械之種類及數量

八 製造原料及材料

九 製品之販賣方法及販路

十 一 支支預算

十一 檢定發給年月日

就課稅物件之製造依他法令須受許可者
或認可者等(以下稱之可)應於前項之

申報書附註明其受許可事實之書類

前二項之規定就水電法第六條第一項規

定之輸入業者申報單用之

第五條改爲如左

三 製造之製造能力與擴充後製造能力
之比較

四 所需資金之金額及其他可爲參考之

第五條之六加添左列二條

第五條之二 製造人對於依第四條第一項
之規定提出之書類之起訟事項遇有變更
時除於前款情形外應立即将其旨以書面
申報於所轄稅捐局長

輸入業者就第四條第三項之規定提出

第五條改爲左ノ如右改ム

第四條 依稅法第六條第一項ノ規定ニ依ル
課稅物件ノ製造申告ハ左記事項ヲ記載
シタル申告書ヲ所轄稅捐局長ニ提出シ
テアスベシ

一 製造場ノ位置

二 製造スベキ課稅物件

三 中告者ノ住所及氏名又ハ名稱

四 資本額、出資者及資本系統

五 製造場ノ廣地及建築物之座置
一年間ノ製造能力及製造見込數量

六 製造方法

七 製造器具及機械ノ種類及數量

八 製造原料及材料

九 製品ノ販賣方法及販路

十 一 支支預算

十一 檢定開始證、年月日

就課稅物件ノ製造依他法令ニ依ル許
可者等(以下稱之可)應於前項之

申報書附註明其受許可事實之書類

前二項之規定就水電法第六條第一項規

定之輸入業者申報單用之

第五條改爲如左

三 製造之製造能力與擴充後製造能力
之比較

四 所需資金之金額及其他可爲參考之

第五條之六加添左列二條

第五條之二 製造人請於製造場之記載事項
之書類之品名、種別及數量及價格之事實
之書類之品名、種別及數量及價格之事實
之書類之品名、種別及數量及價格之事實

輸入業者就第四條第三項ノ規定ニ依リ

リタルトナハル

之兩榜稅捐局長ニ申告スベシ

一 製造場ノ位置

二 製造スベキ課稅物件

三 中告者ノ住所及氏名又ハ名稱

四 資本額、出資者及資本系統

五 製造場ノ廣地及建築物之座置
一年間ノ製造能力及製造見込數量

六 製造方法

七 製造器具及機械ノ種類及數量

八 製造原料及材料

九 製品ノ販賣方法及販路

十 一 支支預算

十一 檢定開始證、年月日

就課稅物件ノ製造依他法令ニ依ル許
可者等(以下稱之可)應於前項之

申報書附註明其受許可事實之書類

前二項之規定就水電法第六條第一項規

定之輸入業者申報單用之

第五條改爲如左

三 製造之製造能力與擴充後製造能力
之比較

四 所需資金之金額及其他可爲參考之

第五條之六加添左列二條

第五條之二 製造人請於製造場之記載事項
之書類之品名、種別及數量及價格之事實
之書類之品名、種別及數量及價格之事實
之書類之品名、種別及數量及價格之事實

輸入業者就第四條第三項ノ規定ニ依リ

十三 第十條中「由稅法施行地外向稅法施行地內移入課稅物件者當其移入」改為

「課稅物件之輸入人或其輸入人」
「品名、種別及數量或價格」
「數量」改為「品名、種別及數量或價格」

十四 第十一條中「合於前項規定之課稅物件之輸入人」改為「課稅物件之輸入人」

「已受承認時大加獎勵不拘該誰之規定」
「移入課稅物件並添承認書」改為「輸入課稅物件並添承認書」

十五 第十一條之二改為如左

第十一條之二 製造人或輸入業人依稅法第三條第三項之規定擬受就稅之徵收稅額應時定期先將記載每月應受徵收稅額稅額額度及其皆之證書提出於所轄我捐局長委託其承認

十六 第十一條之三中「第四項」改為「第五項」
「稅捐局長」改為「所轄稅捐局長」

十七 第十一條之四 第十一條之五 第十一條之六 第十一條之七及第十一條之九中「稅捐局長」改為「所轄稅捐局長」

十八 第十二條改為如左

第十二條 刪除

十九 第十五條中第一項改為如左同條第二項中「製造人」刪除之
依稅法第五條之規定擬受免稅稅額之繳納者將記載左列事項之證書提出於所轄我捐局長併一報之輸出數量或輸出價格對於橘子未滿一百八十斤對於水泥未滿一千五百斤對於發粉未滿一千四時不得認請

一 課稅物件之品名 種別及數量或價格

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

綿紋布
(綿木綿) 加一四五、六四
小倉糾
(小倉地) 加二三四、七四×三六

2 檢定外品及標準品
按標準品及標準品相應減少百分之
四、五計算之
3 不合格品
按標準品及標準品相應減少百分比
十一計算之

卷之三

(二) 布噴。入除資庫、油布、委青
(加二五七)

(一) 品種
切子

10

11

（ア）端切ロノ姓合ヲ以テ地
ル相當不合格品價格トス
（イ）端切ロ（ズワク、ダツ

適用對於右數各該表示之規格長
按其布頭長度之比例所換算之相
當標準品及標準品格之價格

3 標準外品及標準外品格
標準品及標準品格價格ノ四分五厘

右於當地製成小規格長
ノ端切長ノ割合ヲ以テ相
ル相當標準品及標準品格

(1) 總銷售業者販賣價格每五十冠
(2) 為二百二十六與 零售業者販賣價格為對於右表
各該表示之比例所換算後接其布表

總銷部佈告三一六號
關於標榜製品（襪子、毛巾、草大小 等）零售業者販賣價格之相當標準品 格
及標榜價格之七扣

總銷部佈告三一六號
關於標榜製品（襪子、毛巾、草大小 等）零售業者販賣價格之相當標準品 格
及標榜價格之七扣

(1) 元寶捐業者販賣價格 元寶捐業者所在地與又八合庫誠
(2) 小賣業者販賣價格 小賣業者店先談
(3) 小賣業者販賣價格 小賣業者店先談

陳許韓王許田王李楊王黃孫郭張康唐孫陳于宮黃葛王郭關包李廉馬金裴
參壽修乃忠東彩志玉 漢海瑞 類 芝鴻海股文景文濟致饋榮介希長廣
岐昌道榮信開忙業紙英臣亭珍珍區慶田雷洲臣選春智福中國長春三文文聞

(1) 甲種版販賣價格
茲依康熙八年勅令第一百七十三號國勢調查
度德八年七月七日
(浙江省)

敍賜、任免及指敍

1 海拉爾市、齊齊哈爾市、黑河街、扎蘭屯
交售處所
2 (1) 甲種版販賣價格
為總銷售業者版賣價格
批發業者版賣價格
為總銷售業者所在地購或倉庫交貨之價
批發業者版賣價格

御張韓秦任周肅郭李孫于徐孫張李王潘杜楊周高李趙呂于王蔣鄧高李王郭
有連修治高寧鎮志廣萬文占殿 海秀維 樹振春雲廷景福玉玉柴振玉永
森玉琛民財安攝玉富斌鈞強生巒峰山文元林東殿峰璽波德明亭山海臣賀

曲宋康陳宮高田曲康紫白呂廣嗣于邵安曲張于董王張闕譚廬陳張曲揚方王車張張母劉陳倒
水尚高雅殿永富德 遠風 迺振慶崇寶祐顯連 敦榮俊 登汎春興性玉國福煥顯鴻寶
彩華麟草經盛寬禮慶秀為信鑑興波祖瑞榮德有彬榮恩利祥普鳳嶽座森雪樹芳生周忠名陞崑

金瀋何王張高宋羅王安娶銅謂張妻楊郭湯郭曲石國寶曹李褚孫臣李楊徐車企羅李譚鄧李
桂國振英春振寶 金鳳鳳慶閣文純寶國玉接善 振魁憲世學鳳 永玉作玉寶鳴弟惠澤紹
海芳興肇山山房魯泰銘開朗餘志願良績補解岩田全有樓章昌良儀祿和田舟裕祥故暨音首題

3 (1) 甲種版販賣價格
為零售業者版賣價格
乙類版販賣價格
為零售業者店前交貨之價
為總銷售業者版賣價格
零售業者版賣價格
為總銷售業者所在地購或倉庫交貨之價
零售業者版賣價格

張彭李雷梁湯孫張傳潤會楊市何王張張李于宋都楊于高宋馬劉劉彭德宋張單王陳恭趙沈
玉文永仁 玉成學廣職多忠招德義銘玉鳳 麗玉永凌德泰萬國游九連羅義 殿水鴻澤
湖五龍陞江霖亭勤成薛亮三信鄭盛昇和資林九仁三清凌閣治樓琳慶樓江科舞昌毓魁鑑基思

4 海拉爾市、齊齊哈爾市、黑河街、扎蘭屯
交售處所
1 (1) 甲種版販賣價格 / 場合
元寶機械業者版賣價格
卸賣業者版賣價格

姚李湯張李調楊傳郭鄧揚白高美英魏王發高于周孫斐張杜陶林鄧孟張莊李劉鄧楊高宋楊
榮水書國鳳芳玉厚文鳳文步洪秀 純殿景鳳萬翠永志魁長張中貴憲文文慧振換樹水寶
使山貴田鳳林久駿濟學鳴學雲義峰振然富田啟祥志芳鈞岳陞陞會林修郁儒功國文桂山衛霖

5 (1) 甲種版販賣價格 / 場合
元寶機械業者版賣價格
小賣業者版賣價格
零售業者店先渡
卸賣業者版賣價格
小賣業者版賣價格 / 場合
零售業者版賣價格
小賣業者版賣價格 / 場合
零售業者版賣價格

徐華孫王周孫都陳孫張開盧樊興葛王斐李安王張樊張金王王劉壽楊銀闢尚方周任馬馬陶陳
水 閻英振忠玉寶富鳳喜萬樹 廷廣興守振文振 廣豐德懋照資振玉 威盛長德廷百
濟貨志後榮明海珠山坤全鑄賴前智綠綠民忠資試庭館珠年鑄陸魁久榮鑄試中堂洲山豎芳河

姜張李劉高朱裴李王張任郭高張李李于畢王畢張韓胡張施潘劉李殿李張楊孫李傳王潘張
慶解忠潤世鳳國吉玉守廣 廣東福誰樹占使觀歐文景文青子惠新廣景彩鴻文 恒佐文守
美洲仁恩濟雨山倫曉洋臣恒新芳弄玉順忠榮中賢奉誠護學華思使臨金生和義民華田